

# 横浜市介護支援専門員連絡協議会

## 連絡協議会議事録

会議名	令和元年度 第9回 定例会		
開催日時	令和2年2月21日(金) 19:00~20:45	開催場所	横浜市社会福祉センター8階
議 題	1 情報提供		
	2 健康福祉局との意見交換		
	3 令和2年度総会について		
	4 令和2年度予算(案)について		
	5 各委員会及び他団体協力委員報告		
	6 その他事務連絡		

No.	議 題	内 容
1	情報提供	<p>○「横浜市における成年後見制度利用促進に向けた検討委員会報告書」について(横浜あんしんセンター細川事務長・今村担当課長より)</p> <p>標記に関して、中間報告と変わった箇所を中心に、説明を受ける。横浜市としては、この報告書に基づいて実施していく方針であり、4月以降、順次行われる予定となっている。</p>
2	健康福祉局との意見交換	<p>○健康福祉局高齢在宅支援課 本間課長・正木係長・大塚氏・鈴木氏より</p> <p>(以下、健康福祉局は「局」・YCMは「Y」と記載する)</p> <p>① コロナウィルスに関して</p> <p>「局」: 国からの通知が横浜市に次々に届いている。横浜市ではそれをできるだけ速やかに、事業所へ周知している。都度通知を見てください。</p> <p>「Y」: 利用者からケアマネジャー自宅訪問を拒否された際の対応について教えてほしい。</p> <p>→「局」: 国からの通知は出ていない。対応の検討依頼を介護事業指導課に伝える。</p> <p>「Y」: 介護事業指導課へのお願いとして、通知などはできる限り速やかに出してほしい。</p> <p>→「局」: 国からの通知などは、確認してすぐに対応している。市の判断が必要なことでも、できるだけ速やかに対応している。</p> <p>「Y」: 居宅運営に関わることについて、メールを受け取ってもどのメールかわからなかったり、最新版がどれなのかわからなかったりする。そこで、すぐにわかるように、特設サイトを作ってもらえないか。</p>

→「局」：検討する。

「Y」：デイサービスが休みとなり、ヘルパーも行くことができない。その際に誰が利用者を守れるのか。行き場所も方法もない。

→「局」：必要な人に必要な支援が行き届かないことがないように、検討したい。

「Y」：利用者も事業所の職員も守らないといけない。実際にケアマネジャーの自宅訪問を拒む人もいる。そんな人がいることを、知っておいて頂きたい。

「Y」：事業所としては、職員が感染しないようにやるべきことをやっている。それでも万が一の際には、風評被害が心配される。ケアマネジャーは利用者宅に訪問しなくてはいけないが、このような状況下で本当に必要なことであろうか。

#### ②運営に関する問い合わせに関して

「Y」：運営に関する問い合わせに対して、返答をもっと早く頂けないか。

→「局」：介護事業指導課に確認をした。なるべく早く返答したいと考えているが、問い合わせが多い。また、言った言わないとならないために、原則としてファクスやメールとしている。返答内容は必ず確認が必要であり、国への問い合わせが必要なものはさらに時間がかかる。そのような実情をご理解頂きたい。

#### ③介護保険の認定結果をケアマネジャーに通知することに関して

「Y」：介護保険の認定結果をケアマネジャーに通知してほしい。

→「局」：介護保険課に確認をした。介護保険証は個人情報の塊である。そのため、本人が受け取り、それを本人や家族からケアマネジャーへ連絡することとしている。

「Y」：実際に受け取れない人やわからない人もいる。要支援の場合はさらに時間がかかる。生活保護受給者の場合も同様である。認定結果の問い合わせに対して、区による違いもある。

→「局」：区の運用の問題もある。

#### ④介護保険負担割合証に関して

「Y」：新規申請の際に、介護保険負担割合証は介護保険証と一緒に送られるが、申請の段階で負担割合を先に教えて頂けると助かる。

→「局」：介護保険課に伝える。なお、介護保険負担割合は、資産変動などにより割合が変わることがある。

「Y」：負担割合が変わった時には、「ケアマネジャーへ伝えるように」などの通知があると良い。通知している区もある。

#### ⑤地域包括支援センターへの相談に関して

「Y」：公正中立の観点から、包括から自法人居宅への紹介件数を知りたい。

→「局」：地域支援課に確認をした。相談件数は集計しているが、ど

		<p>こへつなげたかは集計していないのでわからない。なお、公正中立に関しては、「居宅介護支援事業所の複数提示(一覧表の活用など)・相談者の意思の尊重」をもって行っている。確認として、アンケートも行っている。</p> <p>→「Y」：実際には、包括の自法人へつなげているケースが多いと感じる。実際に支援につながったケースで、どの居宅へつながったのか、数字を残すのは難しいのか。また、一覧表の提示で公正中立とは言えないのではないか。実際に利用者は、どこの事業所が良いのかわからないし、選べないだろう。</p> <p>→「局」：利用者に丁寧に聞くことで、事業所の要望が出てくる。そうすると、要望に沿った事業所を提示することもできる。</p> <p>→「Y」：公正中立ならば、自法人につなげたケースだけでもわかるようにしてほしい。</p> <p>→「局」：意見として伝える。</p> <p>⑥AI に関して</p> <p>「局」：横浜市では株式会社ウェルモと協定を結び、AI の研究に協力をしている段階である。今年度は、説明会や実証実験会などを開催した。国の AI アプランの調査結果もまとまる予定。だが、今すぐ AI ケアプランを必須で使うという要件になる訳ではない。</p> <p>→「Y」：ケアプラザの Ayamu の活用方法の見直しを考えても良いのではないか。</p>
3	令和 2 年度総会について	<p>○三島総会実行委委員長より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度総会のチラシとアンケートが完成した。チラシを配布する区には、必要部数をお渡しする。</li> <li>・本日に総会実行委員会を開催し、当日の流れなどを検討した。当日は、「総会実行委員及び手伝いは 9 時集合」「役員は 10 時集合」「各区代表は 12 時に集合し、署名など行う」こととする。</li> </ul>
4	令和 2 年度予算(案)について	<p>○佐藤直会計担当より</p> <p>令和 1 年度収支報告(見込み)と令和 2 年度予算(案)を提示される。佐藤氏より「今年度を参考にして、各委員長中心に次年度予算の検討をお願いします。次年度予算は、3 月定例会にて報告をお願いしたい」とのこと。なお、本用紙を 3 月定例会にも持参のこと。</p>
5	各委員会及び他団体協力委員報告	<p>○医療連携委員会(小嶋氏より)</p> <p>3/9(月)に委員会開催予定。今年度の総括と次年度予算を検討する。</p> <p>○制度対策委員会(佐藤孔氏より)</p> <p>3/27(金)開催予定の「いまケア」は、コロナウィルスの影響に鑑み、次年度に延期とする。なお、現時点での申込者については、佐藤氏から連絡を入れる。</p> <p>○広報委員会(松下氏より)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度協賛団体は、27社に協力を依頼し、現時点で13社の申し込みを頂いている。その他にも問い合わせを受けている。</li> <li>・3/27(金)の「いまケア」延期について、協賛団体には広報委員会から連絡をする。</li> </ul> <p>○会計(佐藤直氏より) 議題4参照</p> <p>○事務局(佐藤洋氏より) 神奈川県介護支援専門員協会に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/15(土)県協会研究大会へのYCMの協力に対して、県協会青地理事長からお礼の言葉を頂いた。</li> <li>・第10回調査研究委員会を1/30(木)に開催し、次年度計画について検討した。制度改正の際の県内での説明会は、場所は未定だが県内5か所での開催を予定している。</li> <li>・制度改正調査委員の改選あり。興味のある方は、遅くとも3/10までに返答を頂きたい。なお、県協会としては、委員は県協会会員が望ましいとしている。</li> </ul> <p>○横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会テーマ別検討会(角田氏より) 議題1に関連して、「事例を交えた研修の企画」については、YCMでも協力したいので連絡を頂きたいと伝えている。</p> <p>○横浜市認知症疾患医療センター認知症疾患医療連携協議会(東部)(小嶋氏より) 1/20(月)に会議があった。「65歳以上の無料物忘れ検診・若年性認知症コーディネーター・認知症カフェ・家族会」などの話があった。</p>
6	その他事務連絡	<p>○加藤代表より 各委員会委員長は、次回定例会の3/19(木)までに、「今年度活動報告」「来年度活動計画」をまとめて頂きたい。</p>

次回：令和2年3月19日(木) 19時から  
横浜市社会福祉センターにて